

# 「本物。鹿児島県」 多彩な魅力を発信

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、日頃から、県政の推進に多大な御支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

我が国は、現在、グローバル化の急速な進展や本格的な人口減少・超高齢社会の到来など大きな変革期を迎えています。加えて日本経済の再生をはじめ、国・地方を通じた財政健全化、持続可能な社会保障制度の構築、環太平洋パートナーシップ協定交渉への対応など多くの課題に直面しています。

このような状況の中で、私は、本県の地域特性や可能性を最大限に生かしながら、更なる県勢の浮揚発展を図りつつ、県民一人ひとりが生涯安心して働き、安定した生活を送ることができるよう、従来の諸施策の充実を図るとともに、県民生活に直結する医療や福祉、介護、教育などの分野に特に重点を置いて、仕事、生活、絆の「3つの安心」を実現するための施策を進め、県民の暮らしの安定を図ることが重要であると考えております。

さて、昨年は、5年ぶりに香港との定期航空路線が再開されました。今後、一層の経済発展が期待される環黄海経済圏の主要都市であるソウル、上海、台北、香港と本県が直接結ばれ、本県を訪れる外国人観光客数も順調な推移を見せたところです。また、成田空港と奄美空港を結ぶ航空路線が新たに開設され、首都圏から奄美群島への観光客数が大きく増加しています。

本年は、薩摩藩英国留学生がいちき申木野市の羽島港から渡英して150年を迎えます。海外渡航という国禁を犯し、生命を賭して異国の地へ渡った若者たちは、明治維新後に教育や外交、実業などさまざまな分野で活躍し、近代日本の礎を築きました。そして、3年後には明治維新150周年の節目を迎えることから、現在、専門家の意見も踏まえながら、新たな史料等の調査、

考証に取り組んでおり、当時の人々の生き方について整理・取りまとめを行い、明治維新の意義を改めて考える契機としたいと考えております。

また、本年10月末から11月には「本物。鹿児島県」文化維新は黒潮に乗って」をテーマに「第30回国民文化祭・かごしま2015」が開催予定であり、県内全市町村で100を超えるイベントが企画されています。悠久の昔から南方との交流により育まれた个性的で多様な文化芸術をはじめ、豊富な食材を生かした食文化や温泉、雄大な自然環境など、本県の持つ魅力ある地域資源を生かし、おもてなしの心にあふれた鹿児島ならではの県民総参加による国民文化祭となることを目指してまいります。

さらに、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」や「奄美・琉球」の世界遺産登録に向けた取組、平成32年に開催予定の国民体育大会の準備など主要なプロジェクトを着実に進め、国内外を問わず「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を様々な機会を通じて広く情報発信してまいりたいと考えております。

今後とも、時代の状況変化に的確に対応しながら、「かごしま将来ビジョン」に示した「安心・安全」「活力・快適」「共生・有徳」の3つの視点を基本に、「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し、「力みなぎる・かごしま」「日本一のくらし先進県」の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き県政に対する皆様のお支援・御協力をお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が輝かしく幸多い年となりますことを心から祈念いたします。



平成二十七年元旦  
鹿児島県知事 伊藤祐一郎